

給気口セット 工事説明書

品番 (品番の見方)	VB-GJCS100A	防火ダンパー (温度ヒューズ) なし：防火ダンパーなし A : 72℃
仕様	GJCS : 自然給気口+遮蔽板付パイプフード	
適用ダクト径	100 : φ100 150 : φ150	

- 防火ダンパー付パイプフードは火災の延焼防止に用いられるものです。
- 防火ダンパー付パイプフードの使用については地域により規制が異なりますので所轄の消防署などにご相談ください。
- 取り付け工事終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
・工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
-----------	-----------------------	-----------	----------------------------------

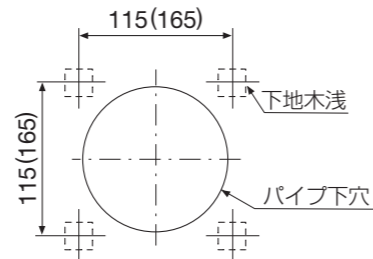
■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

⊘	してはいけない内容です。	!	実行しなければならない内容です。
---	--------------	---	------------------

警告	注意	
⊘	⊘	!
<p>共通 仕様変更・改造は絶対にしない 火災・感電・けがの原因となります。</p> <p>パイプフード 防火ダンパーを密閉または半密閉の燃焼設備(給湯器、風呂釜など)の排気ダクトには使用しない ダンパーが閉じて排気ガスが逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。</p>	<p>自然給気口 天井には取り付けない 落下により、けがをするおそれがあります。</p> <p>パイプフード 通路などの人が容易に触れる場所には取り付けない 板金部品などの切り口や本体の突起、角などでけがをすることがあります。</p>	<p>共通 部品は確実に取り付ける 落下により、けがをするおそれがあります。</p> <p>本体は十分強度のあるところにしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する 落下により、けがをするおそれがあります。</p> <p>施工の際は、皮手袋を着用する 板金部品などの切り口や本体の突起、角などでけがをすることがあります。</p>
<p>分解禁止</p> <p>禁止</p>	<p>禁止</p>	<p>設置工事は必ず専門の工事業者に依頼する けがをするおそれがあります。</p> <p>使用を終了した製品は放置せず、撤去する 万一の場合、落下により、けがをするおそれがあります。</p> <p>本体は指定の方法で確実に取り付ける 落下により、けがをするおそれがあります。</p>

お願い

- 自然給気口
 - 高温(40℃以上)になる場所や台所など油煙の発生する場所に取り付けしないでください。
変形や破損の原因になります。
 - 外気温が-5℃以下で室内温度が高い場合(室温20℃、相対湿度50%以上)では、本体表面や内部に結露が発生することがあります。
 - 薬品や特殊ガスを使用する場所に取り付けしないでください。
変形や破損の原因になります。
 - 石こうボードに取り付ける場合は、下地木浅または市販の石こうボード用アンカーを使用してください。
パネル開閉操作時にねじがゆるむおそれがあります。



パイプフード

■φ150タイプの機種はVP管を使用できません。

防火ダンパー付機種をご使用の場合

- 取り付けについて
 1. 厨房(台所)、ボイラー室の換気扇の排気ダクトなどは排気温度が高くなり、温度ヒューズ72℃では溶断する可能性がありますので、設置をさせていただきます。
 2. 温度ヒューズの保守点検が容易な場所に限定してご使用ください。

保守点検について

1. 温度ヒューズの交換は、銘板に表示する温度ヒューズを使用してください。
2. 温度ヒューズの交換・フードの清掃は、フードをはずしておこなってください。

■適用ダクトは、不燃性ダクトをご使用ください。

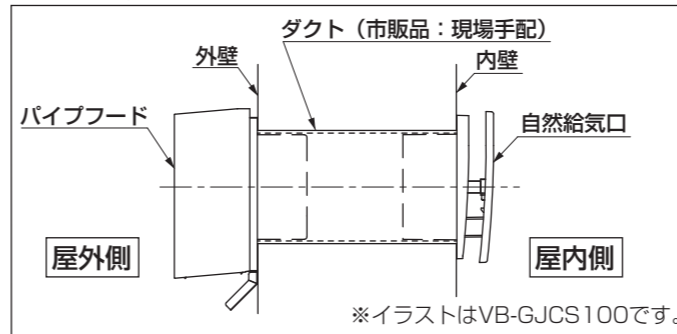
各部の名前と寸法

お願い この製品専用の付属品あるいは指定のもの以外は使用しないでください。

付属品

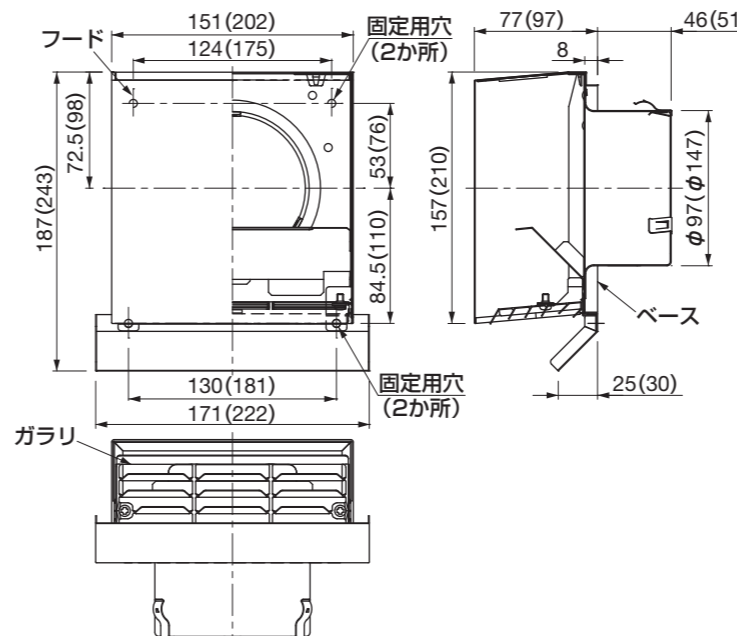
- 自然給気口すき間防止用パッキン………2個
(φ100サイズ 厚み3mm、厚み10mm)
(φ150サイズ 厚み3mm、厚み5mm)
- 給気口取付ねじ………4個
- フード取付ねじ(長)………2個
- フード取付ねじ(短)………2個
- 取扱説明書………1冊
(必ずお客様にお渡しください)

取り付け完成図



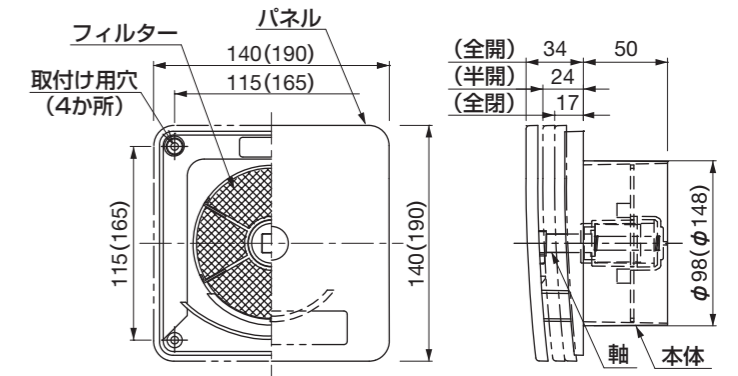
■パイプフード(防火ダンパー無)

- 【φ100】VB-GJCS100
- 【φ150】VB-GJCS150
- ※イラストは、VB-GJCS100です。
- ※()内寸法は、φ150の機種を示します。



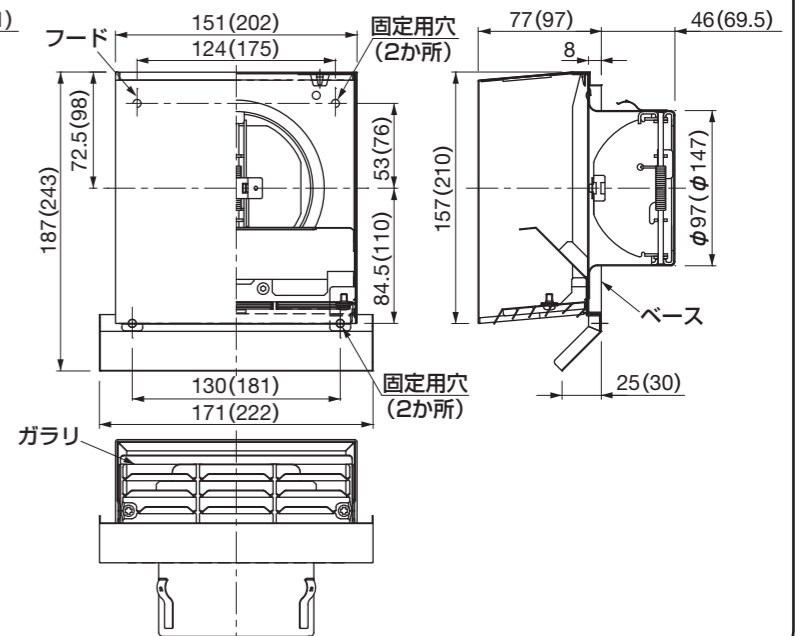
■自然給気口

- 【φ100】VB-GJCS100、VB-GJCS100A
- 【φ150】VB-GJCS150、VB-GJCS150A
- ※イラストは、VB-GJCS100、VB-GJCS100Aです。
- ※()内寸法は、φ150の機種を示します。



■パイプフード(防火ダンパー付)

- 【φ100】VB-GJCS100A
- 【φ150】VB-GJCS150A
- ※イラストは、VB-GJCS100Aです。
- ※()内寸法は、φ150の機種を示します。



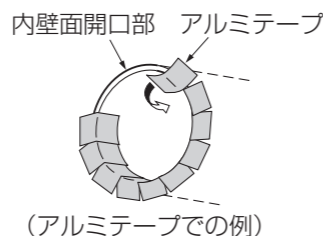
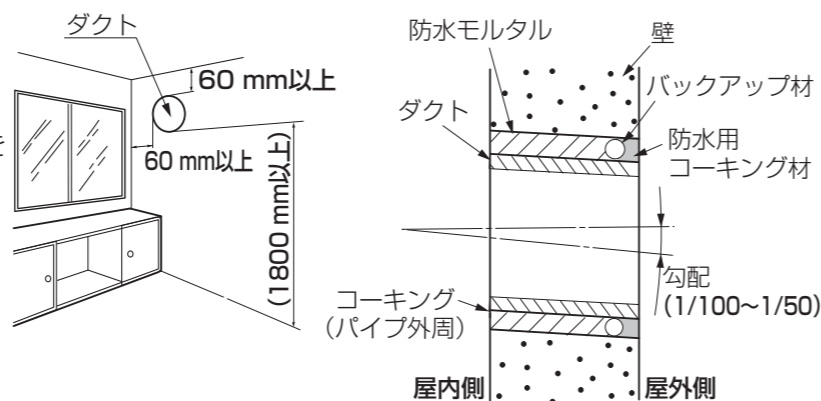
施工方法

以下の手順にしたがって施工してください。

ダクトの施工

あらかじめ自然給気口取り付け位置にダクト（市販品）を通し、端面処理を施す。

- ダクトは屋外側へ下向きに1/100~1/50の勾配を設けてください。
- 壁内部に雨水が入らないように、雨水浸入防止は必ずおこなってください。
- 屋外側は雨水が壁の中にしみ込まないように、防水用コーキング材を確実に施してください。
- ダクトが屋外先端まで配管されているか確認してください。
- 石こうボード端面からのボード粉の飛散防止のため、内壁面開口部およびその周囲をコーキングしてください。アルミテープでふさぐのも効果的です。
- 石こうボードの粉がパイプ内に飛散している場合は、清掃してください。



自然給気口の取り付け

(1) パネル中央のくぼみを押しして全開状態にしてから、パネルを本体の上部方向にずらして、パネルと本体をはずす。

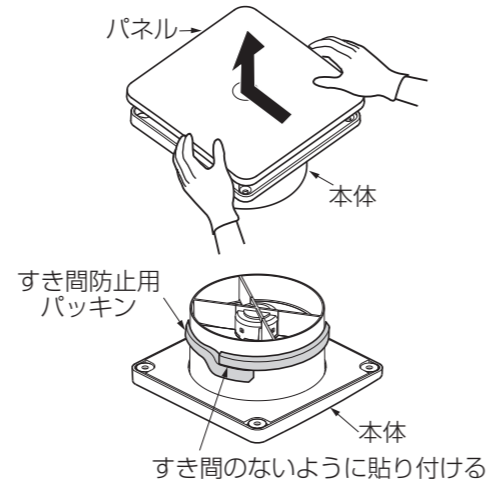
お願い

- ・無理やりはずさないで、まっすぐ上部方向へずらしてください。破損の原因となります。

(2) ダクトの径にあわせて、本体に付属のすき間防止用パッキンを貼り付ける。

- (φ 100サイズ VP管などの内径φ 100 mmには厚み3 mmのパッキン、内径の大きいVU管には厚み10 mmのパッキンを貼り付ける。)
- (φ 150サイズ 内径φ 150 mmには厚み3 mmのパッキン、内径の大きいVU管には厚み5 mmのパッキンを貼り付ける。)

■本体の取り付け時に、上側になる位置がパッキンの合わせ目になるように貼り付けてください。(本体の「上側」表示を確認してください。)



(3) パネルをはずした本体をダクト（市販品）に挿入し、付属の給気口取付ねじ（4個）で固定する。

お願い

- ・ねじは締め付けすぎないようにしてください。石こうボードが割れる可能性があります。

(4) 軸のパネル受けにパネルの軸掛けを合わせてパネルを上から差し込む。パネルは最後まで、確実にはめ込む。

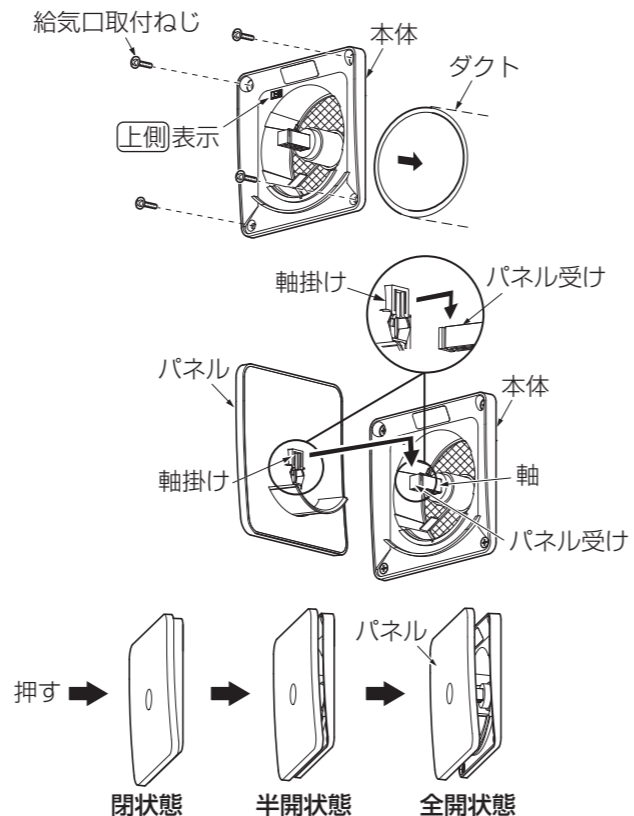
お願い

- ・無理な力を加えないでください。破損の原因となります。

(5) パネルを押し、パネルが開閉することを確認する。

お願い

- ・くぼみを水平に押ししてください。斜めに押ししたり、下から突き上げたりするとパネルがはずれることがあります。



パイプフードの取り付け

(1) ベース裏面に防水用コーキング材を施す。

お願い

- 水抜きのため、下部は2 cm程度あけて、防水用コーキング材を施してください。

(2) ベース部分をダクトに差し込み、付属品のフード取付ねじ（長）でベース上部を固定する。

お願い

- ねじの締め付けに注意してください。(壁面の凹凸などによっては、ベースが変形する) おそれがあります。
- 壁面の強度が不足する場合は、アンカープラグ（市販品）を使用してください。

(3) フードのツメ（2か所）をベースの長穴に差し込み、フードをかぶせ、フランジ部をガイド部（2か所）に差し込む。

お願い

- フードとベースが確実に吻合していることを確認してください。

(4) フード下端部を付属品のフード取付ねじ（短）で固定する。

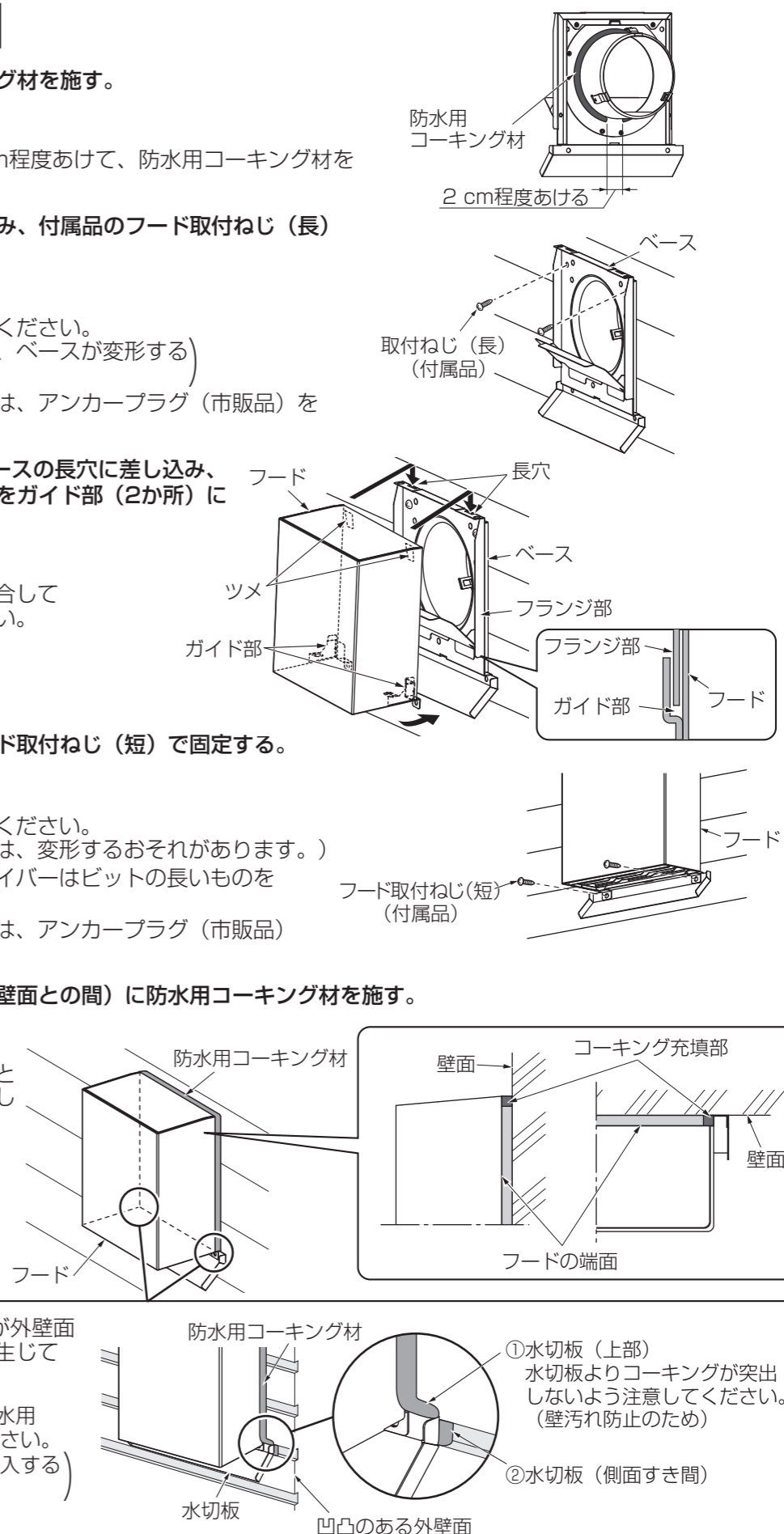
お願い

- ねじの締め付けに注意してください。(壁面の凹凸などによっては、変形するおそれがあります。)
- ねじの締め付けの際、ドライバーはビットの長いものを使用してください。
- 壁面の強度が不足する場合は、アンカープラグ（市販品）を使用してください。

(5) コーキング充填部（フードと壁面との間）に防水用コーキング材を施す。

お願い

- フードの端面までしっかりと防水用コーキング材を充填してください。



- フード取付ねじ(短)の位置が外壁面の凹部と重なり、すき間が生じてねじが露出する場合
右記（左右各2か所）にも防水用コーキング材を充填してください。(雨水がねじ穴から壁内に浸入する) おそれがあります。